



洗心

村山市立袖崎小学校
学校だより
No.23

令和7年3月27日発行

「洗心」を胸に巣立つ子どもたちへ

3月18日卒業証書授与式 式辞より



れいさん、結仁さん、ご卒業おめでとうございます。わずかな時間でも本を開き、周囲を読書の楽しさに誘ってくれたれいさん、見る者の目を奪う走り、滑り、プレーでみんなの憧れだった結仁さん。とても存在感のある二人でした。一方、最上級生はあらゆる場面で先頭に立ちますから、二人では大変ではないかと初めは思いました。しかし、あなたたちはいつも自然体でした。自分らしさを生かし、無理をせず、かつ前に出る場面では堂々としていました。それはきっと、お互いを、そして袖崎小学校のみんなを信頼していたからだと思います。二人は、下級生と力を合わせて物事に取り組みました。自分一人が引っ張るのではなく、みんなの気持ちに寄り添い、みんなの力を生かすリーダーでした。だからみんな6年生が大好きです。



笑顔で遊んだり教えたりしてくれた縦割り活動、苦しい時こそリーダーはどうあるべきかを示した運動会、自在な身のこなしで颯爽と決めたダンスフェスティバル、煙に泣き笑った芋煮会…いつもかっこよく、下級生と共にいてくれた優しい先輩でした。袖崎小学校をますます楽しい、よい学校にしてくれてありがとうございました。



人は自分が見ようとするものを見、聞こうとすることを聞いています。ぜひ「洗心」の精神で、よいこと、美しいものに心を向けましょう。心を向けたことがその人を創っていくからです。加えて、「自分にはよいところがある」こと、そして「自分はいかに恵まれ大切にされているか」ということに気づいてください。幸せはつかむものではなく、気づき、感じるものです。自分を認める気持ち、そして周囲への感謝があってこそ、幸せは感じる事ができるのです。一方、悪いニュースや心配事は意識を向けなくても目に入り、心に浮かんできます。なぜなら、そうやって危険を避けることで人間は生き延びてきたからです。いわば、命を守る本能なのです。



新しい世界を前にした今、希望とともに不安や緊張もあることでしょう。それは、がんばろうと思うからこそ生まれてきます。ならば、その役割を理解し、逆に味方にしてしまいましょう。不安がわいてきたら「やる気になっている証拠だ。」と考え、緊張を感じたら、「体が応援してくれているのだな。」ととらえて、一歩前に進む力に変えるのです。

ただ、本当に困ったときは、大人に助けを求めてください。何でも一人でできる人が強いのではなく、助けを求める勇気を持った人が本当に強いのだと、私は思います。

これからも曇りのない「洗心」の心で物事を見つめ、考え、行動してください。「洗心学校」袖崎小学校で育ったことに誇りをもち、胸を張って次のステージへ踏み出しましょう。

校長 高橋 郁子

卒業生の決意



田山結仁さん 将来の夢はサッカー選手です。中学校に行ったら、勉強をもっとがんばります。

齊藤れいさん 将来の夢は薬剤師です。中学校では、化学を中心に勉強をがんばります。



改めて「洗心学校」について考える

3月17日の修了式、改めて「洗心学校」である本校の校歌の歌詞について考えました。

子どもたちに、この校歌には、「私達は、露の玉のように澄んだ清らかな『洗心』を規準として美しい行いをします」という決意が込められているのではと伝えました。そのあと、私がこの1年間で見つけた美しい行いを紹介しました。私は、「洗心」とは、子どもたちの心の中にある「きれいなもの」ではないかと捉えています。それは、外からは見えません。けれども、美しい行いによって表に現れます。美しい行いには、自分のためのものと人のためのものがありますが、どちらも為すことによって更に心を洗い清めてくれるはずです。この1年間、「洗心」の精神で頑張った子どもたちの心は、ますます清らかに澄んだことでしょう。



歴代の袖崎小学校の児童がそうしてきたように、これからも、「これは『洗心』の行いかな。」と自分に問いかけながら進む人を育てたいと考えます。一人一人の美しい行いが袖崎小学校を「洗心学校」にするという思いで、これからも頑張っていきたいです。

教職員の転出入のお知らせ

今年度の人事異動により、以下のように職員が退職・転出・転入します。

【退職・転出職員】

教 頭	しまだ としみ 篤田 俊美	村山市立楯岡小学校へ	(本校勤務2年)
教 諭	いけだ さゆり 池田小百合	尾花沢市立福原小学校へ	(本校勤務4年)
主 事	さとう みさ 佐藤 みさ	退職	(本校勤務1年)

【転入職員】

教 頭	たかはし まさき 高橋 真樹	山形市立第七小学校より
教 諭	ひらた ちづる 平田 智鶴	尾花沢市立尾花沢小学校より
主 事	たかはし かおる 高橋 薫	東根市立長瀬小学校より



ご理解とご協力に深く感謝いたします



卒業式ご来賓からのお祝いの言葉には、袖崎小学校の子どもたちへの強い愛情が感じられました。また、そでさき元気っ子様から、今年度も卒業式のステージを飾る鉢花(サイネリア)をいただきました。これらを初めとして、今年度も、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。一人一人の袖崎小の子どもを地域の宝として、愛情をもって見守ってくださり、支えてくださったことに改めて深く感謝申し上げます。4月からは、新しいメンバーとなりますが、引き続きどうぞよろしくお願いたします。

